

将来像 I 魅力と誇りが実感できる「いしかわ」

重点戦略 — 3 自律した持続可能な地域づくり

〔ねらい〕

本県は全国よりも早いペースで人口減少・超高齢化が進行しており、特に能登北部では2015年の人口が対2005年比で20%減、年少人口は37%減、65歳以上が44%となることが見込まれており、過疎の一層の深刻化が懸念されています。

人口減少・超高齢化は、従来からある過疎地域の問題に加え、まちの郊外化による中心市街地の衰退・空洞化と相まって、都市部においてもコミュニティの希薄や防犯、防災等の地域活動の縮小といった様々な問題を生じさせています。

こうした大きな2つの課題に対応するため、都市部においては徒歩による日常生活圏の形成を目指したコンパクトでにぎわいのある地域づくりを、また、地方部においては地域の現状・特性に応じた生活の営みの維持・継承を図り、さらには、両者に共通する課題であるコミュニティの再生に取り組みます。

1 都市部におけるコンパクトでにぎわいのある地域づくりを進めます。

- (1) 市街地の郊外への拡大を抑制するとともに、中心市街地における低未利用地、既存施設を活用しながら、住宅・商業施設の集積を図るなど、誰もが歩いてある程度の日常生活ができるまちづくりを支援します。
郊外においては、中心市街地との連携・共存を図る良好な居住環境を有する拠点的な市街地の形成を支援します。
- (2) にぎわいの再生を図るため、商店街のイベント事業や空き店舗対策等ソフト面の取組みを支援するとともに、にぎわいの拠点となる商業・観光施設と一体となった目抜き通り、駅前広場、回遊ルート等の整備を進めます。また、歴史的な街並みの保全・再生や近代的な都市景観の創造により、市街地の魅力アップを図ります。
- (3) 生活排水処理施設、水と緑のふれあい空間の整備など、全ての人々の快適な生活を支える良質な生活基盤の整備を推進します。
- (4) 県都金沢の中心市街地の通過交通を排除する環状道路の整備を進めるとともに、パーク・アンド・ライド・システム等により公共交通の利用を促進し、都市部の交通渋滞の緩和を図ります。また、新しい公共交通システムの導入可能性についても、引き続き検討を進め、人と環境に優しい都市交通体系の構築を目指します。
副都心地域については、北陸地域の広域中枢機能の集積を進め、金沢港や金沢駅周辺・都心部と一体となったにぎわいの創出を図ります。

→ P.42

施策の概要

2 愛着の持てるふるさととの次世代への継承を目指します。

- (1) 集落の存続に不可欠な働く場の確保に向け、アグリビジネス（直売所設置、農家レストラン、農家民宿等）の起業化、特産物の育成、企業誘致など産業基盤づくりを推進します。
- (2) 交流人口の拡大や定住促進を図るため、地域と都市等との連携・交流を進めます。
- (3) 日常の様々な活動を支える生活道路や合併した市町が一体的なまちづくりを進めるために必要な合併支援道路の整備を進めます。また、生活路線バス等の利用促進や運行支援を行うことにより、就学児童や高齢者等が通学、買い物、通院など日常生活の必要を満たすことができるよう地域公共交通機関の確保に努めるとともに、地域特性に応じた公共交通体系の検討を進めます。
ブロードバンドの普及拡大や携帯電話の不感地帯の解消など情報通信基盤の整備に取り組みます。
- (4) 地域の活力を育むため、産学官と連携しながら、地域づくり活動の核となる人材や団体の育成・活動の支援などに取り組むとともに、地域が有する多彩な資源を活用して創意工夫を凝らして行う地域づくりへの支援を行います。
- (5) 災害時や積雪時等における安全の確保等と住民に必要な社会サービスの提供を図るため、集落の連携・移転・再編などの方策を講ずる市町を支援します。

→ P.46

3 県民一人ひとりが支えていく活力ある地域コミュニティを再生します。

- (1) 行政と地域住民との連携・協働により、住民主体の地域づくりを進めます。
- (2) 活力ある地域づくりに向けて、ボランティアやNPOの育成・活動支援及び人材の育成を進めるとともに、団塊世代のNPO・ボランティア活動への参加を促進します。

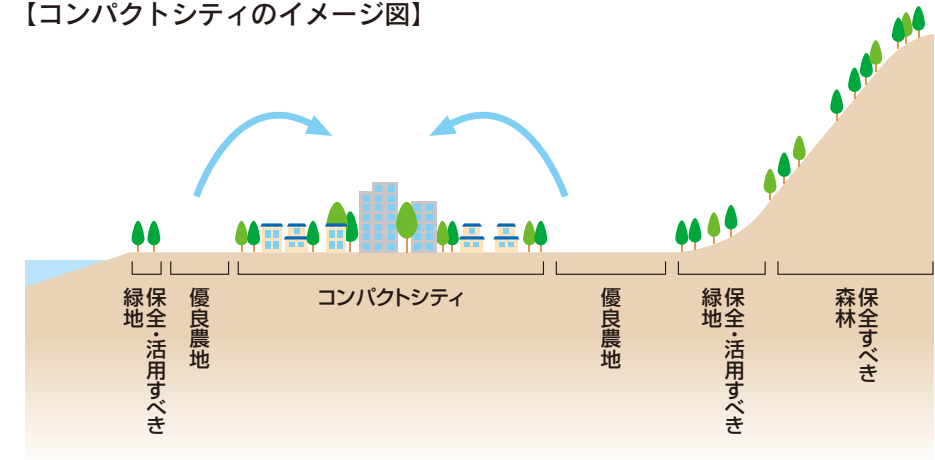
→ P.50





1 都市部におけるコンパクトでにぎわいのある地域づくりを進めます。

【コンパクトシティのイメージ図】



(1) コンパクトなまちづくりに取り組みます。

- ① 徒歩で日常生活の必要をある程度満たすことができるコンパクトなまちづくりを支援します。
 - 公共交通機関の利用促進、歩行空間の確保により、誰もが歩いて生活できるまちづくりに取り組みます。
- 市街地の郊外への拡大を抑制するとともに、中心市街地の低未利用地や既存施設を有効に活用した魅力ある街区の創造、住宅・商業施設の集積など、市町が行うコンパクトなまちづくりを支援します。
- 市街地再開発事業による商業や都市居住空間の整備を促進します。
- ② 拠点的な市街地の形成と良好な居住環境の確保を進めます。
 - 郊外部においては、中心市街地との連携・共存を図りながら、良好な居住環境を有する拠点的な市街地の形成を支援します。

(2) にぎわいのあるまちづくりに取り組みます。

- ① にぎわいと活力ある中心商業地の再生と空間の創出を図ります。
 - コンパクトなまちづくりに対応した商店街の取組みを支援するとともに、中心商業地のにぎわい再生と魅力向上を促進します。
 - 商業基金^{※1}を活用し、イベント事業や空き店舗対策など中心商業地のにぎわい再生に取り組む意欲ある商店街を積極的に支援します。
 - 人々が集うにぎわい空間として、街の中心部に位置する駅前広場等の整備を市町と連携して進めます。
 - 都市ルネッサンス石川・都心軸整備事業などにより、地元のまちづくり活動と連携しながら、にぎわいの拠点となる商業・観光施設と一体となった目抜き通りの整備を進めます。
 - まちなかの文化・観光施設を結ぶ回遊ルートの整備を市町と連携して進めます。
- ② 歴史的な街並みの保全・再生や近代的な都市景観の創造により、市街地の魅力アップを図ります。
 - 北国街道、北前船寄港地、近代化遺産など歴史的な街並みの保全・再生を進めます。
 - 無電柱化などにより、都市の活気とにぎわいを感じられる、美しく近代的な都市景観の創造を進めます。
- ③ 港湾を核としたにぎわいと活力あるまちづくりを推進します。
 - 輪島港マリントウンプロジェクトなどにより、地方港湾を核としたにぎわいと活力の創出を図ります。



中心市街地における都市機能の集積(金沢駅周辺)



中心商業地のにぎわい(輪島市馬場崎商店街)

※1 商業基金とは、商店街のイベントなどソフト面での取組みを支援するために設置された基金



(3) 良質な生活基盤の形成を進めます。

① 全ての人々が安心して快適に移動できるまちづくりを推進します。

- 公益的建築物や住宅のバリアフリー化を促進します。
- 利用者の多い主要な鉄道駅周辺の歩道バリアフリー化を推進します。
- ノンステップバスの導入や駅・バス停のバリアフリー化を促進します。
- 街路事業の推進や歩道の無電柱化により、歩行者や自転車が安全・快適に通行できる環境の整備を進めます。

② 緑の空間の創造と利活用の充実を図ります。

- 県営公園の整備を進めるとともに、イベント開催などにより公園の利活用を図ります。
- 公共施設緑化指針^{※1}の策定や緑と花のまちづくり推進員^{※2}の育成に取り組み、官民による緑の空間づくりを進めます。



歩道の無電柱化

③ 水辺環境を整備し憩いの場づくりを進めます。

- 魚が棲み水生植物が茂る「川らしい川づくり」を推進します。
- 海と港に親しめる住民の憩いの場として、また地域の祭りにも利用できる緑地の整備を進めます。
- 水と緑のふれあい空間の創出を図るため、都市公園の整備と運営の充実を推進します。

④ 河川、湖沼、海域の水質保全や生活環境の向上を図るため、生活排水処理施設の整備を推進します。

⑤ 建替や改修により、セーフティネットとしての公営住宅の適切な維持管理と整備を図ります。



川らしい川(多自然)づくり

(4) 県都のまちづくりを進めます。

① 円滑な交通を支える道路整備を進めます。

- 外・中・内環状道路の整備により中心市街地の通過交通を排除するとともに、交差点改良などによるボトルネックの解消を進め、県都金沢の中心市街地の渋滞緩和を図ります。

② 人と環境にやさしい都市交通体系の構築を図ります。

- 市と連携しパーク・アンド・ライド・システム^{※3}の



金沢外環状道路(山側環状) 野田町付近

推進などによる公共交通の利用促進を図るとともに、新しい公共交通システムの導入可能性についても引き続き検討を進めます。

③ 金沢港や金沢駅周辺・都心部と一体となった副都心の機能強化を進めます。

- 商業、業務施設の誘致や北陸地域の広域中枢機能の集積を進め、金沢港や金沢駅周辺・都心部と一体となった副都心のにぎわいの創出を図ります。



金沢西部副都心

県民へのメッセージ

◎ 都心部におけるコンパクトでにぎわいのある地域づくりのためには、県、市、町、企業、地域住民が一体となつたまちづくりが不可欠であり、地域住民のまちづくりへの積極的な参加が期待されます。

※1 公共施設緑化指針とは、道路、河川、学校、官公庁施設等の修景緑化の考え方や、緑化の技法に関する指針
※2 緑と花のまちづくり推進員とは、地域の緑化を住民主体で進めていく際のリーダー的な役割を担う人材

※3 パーク・アンド・ライド・システムとは、都心部の渋滞緩和のために、自宅から最寄りの駅やバス停に近い駐車場に車を停めて(パーク)、鉄道やバスなどの公共交通機関に乗り替えて(ライド)、目的地に向かうシステム



2 愛着の持てるふるさとの次世代への継承を目指します。

(1) 集落の存続に不可欠な働く場の確保に向け、中山間地域を含む過疎地域等の地域特性を活かした企業誘致など産業基盤づくりを推進します。

① アグリビジネス^{※1}の起業化や特産物の育成等による所得の確保を図ります。

- 販売や経営の専門家等の派遣や技術研修の開催により、加工品開発や直売、農家レストラン・農家民宿の開業等のアグリビジネスの起業化を促進します。
- 水稻を中心とした水田農業と源助だいこんやこまつななど地域特産品目を組み合わせた営農モデルを構築するなどにより、自立可能な複合経営を促進します。

○新たな特産物の発掘・育成と産地化を促進するほか、今後需要の拡大が見込まれる山菜等地域資源について、土地所有者の保護意識の啓発や採取者のモラル向上に向けた取組みを進めます。

② 高速交通基盤の整備、多彩な地域資源など地域特性を活かした企業誘致を推進します。



能越自動車道穴水道路



輪島市臨空産業団地に進出した企業

(2) 交流人口の拡大や定住促進を図るため、地域と都市等との交流・連携を進めます。

① 交流機会の拡大やUJIターンの促進等により、団塊世代をはじめとした様々な世代の参画を得ながら中山間地域を含む過疎地域などの集落の活力確保を図ります。

- 首都圏等からふるさと石川への就職を支援します。
- 本県への移住や二地域居住を促進するためのワンストップ機能を持った相談窓口の設置を図ります。
- 団塊世代等の定住促進に向けた取組みを支援します。

- ◆過疎地域の集落の実態調査を実施します。
- ◆空き家、空き農地情報の収集・提供等を支援します。
- 多様な自然景観や伝統文化、既存の施設など地域の資源を活用したグリーン・ツーリズムや農山漁村地域でのワーキングホリディ^{※2}等による都市と農山漁村の交流を促進します。
- 民間活力を活用したモデル地区の設置を通じて、企業等多様な参画による農地保全体制の構築を支援します。



農家民宿での都市住民との交流



稲の架掛け作業に励む棚田オーナー



ハーブの摘み取り体験

※1 アグリビジネスとは、農業生産を基本に加工や流通、販売、サービス等を組み合わせた、農業関連産業のこと

※2 ワーキングホリディとは、余暇に農山漁村で滞在しながら、農林漁業の作業体験等を通じて地域住民との交流を深める、グリーン・ツーリズムの一形態



(3) 日常生活の必要を満たすことができるよう、地域公共交通機関の確保、情報通信基盤の整備に取り組みます。

- ① 合併した市町の一体的なまちづくりを促進するため、合併支援道路の整備を進めます。
- ② 1.5車線の道路整備^{※1}や現道活用型道路整備^{※2}などのローカルルールを活用し、生活道路の安全性と走行性の向上を図ります。
- ③ 公共交通機関の利便性向上等による利用促進並びに生活路線バス等の運行支援を行います。
- ④ 国や市町等と連携して鉄道や生活路線バス等の維持確保に努めるとともに、地域特性に応じた公共交通体系の検討を進めます。
- ⑤ ブロードバンド^{※3}の普及拡大や携帯電話の不感地帯の解消など情報通信基盤の整備に取り組みます。

【1.5車線の道路整備】



(4) 地域の活力を育むため、産学官と連携しながら、地域づくり活動の担い手の育成や多彩な地域資源を活用した地域づくりを支援します。

- ① 地域に誇りと愛着を持ち、地域づくり活動の核となる人材や地域づくり団体の育成を図ります。
 - 「いしかわ地域づくり塾」の開講などにより引き続き人材を育成します。
- ② 地域づくり団体に対し、団体相互の交流や情報交換の場の提供等の活動支援を行います。
 - 研修交流事業の実施、情報誌の発行や先進的な活動を行っている団体の表彰などを引き続き
- ③ 地域が有する多彩な資源を活用して、創意工夫を凝らして行う地域づくりを支援します。
 - 奥能登ウェルカムプロジェクト戦略研究会^{※4}の検討を踏まえた広域連携事業の推進やビジネスモデルの実現に向けて取り組みます。
 - 本県の特徴である高等教育機関の集積を活かした取り組みや県外大学サークルの合宿誘致など先導的な事業の展開を図ります。

※1 1.5車線の道路整備とは、これまでのように必ずしも2車線整備にはこだわらず、待避所整備や見通しの改善などにより、早期に一定水準の安全性、走行性の確保を図る整備手法
 ※2 現道活用型道路整備とは、バイパス整備に代わって、極力、現道の拡幅に主体を置き、既存の舗装や構造物などの道路施設を最大限活用しながら道路を拡幅する整備手法
 ※3 ブロードバンド〔broadband:広帯域〕とは、光ファイバーやCATVなどの通信技術により、映像や音声などの大容量データをすばやく送受信することが可能なインターネット通信回線のこと
 ※4 奥能登ウェルカムプロジェクト戦略研究会は、より広域的な連携による豊かな地域資源を活用した奥能登地域の振興方策を検討するため、平成18年8月に設置した県、地元市町、経済界及び地域づくり団体等で構成する研究会

【交流人口の拡大に向けた取り組み】



地元NPOと金沢大学が開催した「里山里海自然学校」に多くの小学生が参加(輪島市門前町)

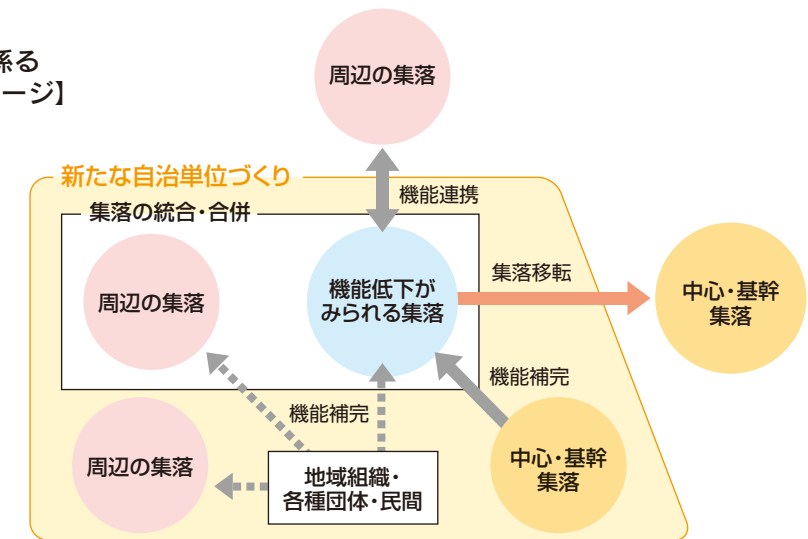


誘致された県外大学の合宿先で地域の伝統芸能とふれあう

(5) 災害時や積雪時等における安全の確保等と住民に必要な社会サービスの提供を図るため、集落の連携・移転・再編などの方策を講ずる市町を支援します。

- ① 国の支援メニューを活用し、集落の連携・移転・再編などの方策を講ずる市町をサポートします。

【集落の連携・移転・再編に係る多様な取り組みのイメージ】



出典: 総務省「過疎地域等における集落再編の新たなあり方に関する調査報告書」

県民へのメッセージ

◎愛着のもてるふるさとを次世代に継承するためには、県、市町、企業、地域住民が連携した取り組みが不可欠です。団塊世代のUターンが期待されます。



3 県民一人ひとりが支えていく活力ある地域コミュニティを再生します。

(1) 行政と地域住民との連携・協働により、住民主体の地域づくりを進めます。

① 防犯・防災、環境保全、高齢者や子育ての支援、街づくりなど様々な分野において、行政と地域住民との連携を促進します。

- 行政と地域住民との連携による取組みの例
 - ◆地域と在在外日本人との共生・交流
…………… [重点戦略2 ③ (2)]
 - ◆住民主体のまちづくり
…………… [重点戦略3 ① (2) ①]
 - ◆地域の景観保全
…………… [重点戦略3 ① (2) ②、6 ④ (1) ⑥]
 - ◆地域住民の意向を反映した道路整備
…………… [重点戦略3 ② (3) ②]
 - ◆農地・農業用水等の保全
…………… [重点戦略5 ⑤ ③]
 - ◆自助・共助による災害予防体制
…………… [重点戦略6 ① (1) ②]
 - ◆交通安全
…………… [重点戦略6 ② (1) ①]
 - ◆防犯まちづくり、子どもの安全
…………… [重点戦略6 ② (2) ① ②]
 - ◆子育て支援
…………… [重点戦略7 ① (1) ①]
 - ◆高齢者の地域における支え合い
…………… [重点戦略7 ② (4) ③]



地域住民が主体となった「まちづくり協議会」により、整備箇所、整備順位を決定する



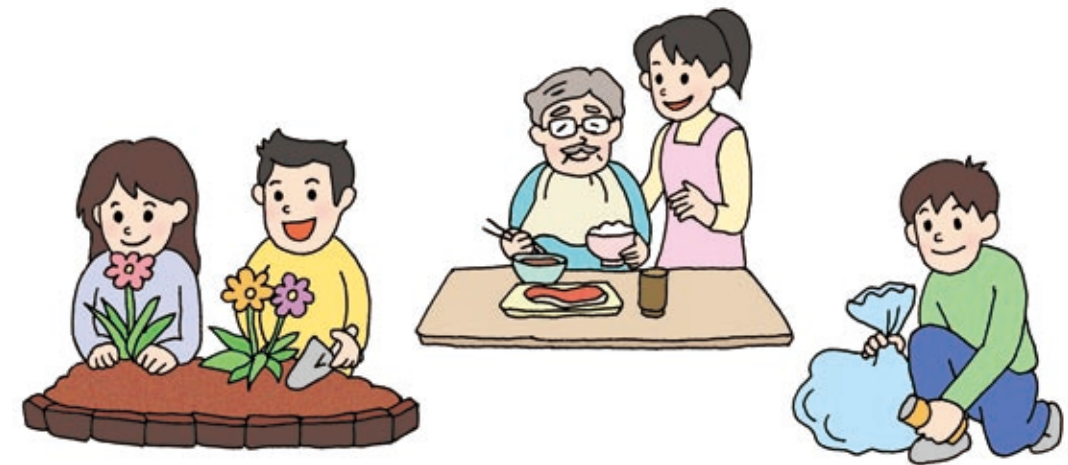
地域住民の幅広い参加による農地・農業用水などの地域資源や農村環境を守る取組み
写真上/草刈り 写真下/水路の補修

② 地域コミュニティの活性化に携わる地域づくり団体の活動を支援します。

- 団体の将来計画の立案、新しい事業の企画、情報の発信、研修や他の団体との交流など組織運営に関わる様々な支援を行います。

(2) 活力ある地域づくりに向けて、ボランティアやNPOの育成・活動支援及び人材の育成を進めるとともに、団塊世代のNPO・ボランティア活動への参加を促進します。

- ① 県民ボランティアセンターを活用し、県民がボランティア活動に参加しやすい環境をつくります。
 - 県民へのボランティア活動の紹介やボランティア団体とのマッチングの場の提供により、ボランティア活動への参加を促進します。
- ② NPOの育成を図るとともに、活動の活性化を支援し、行政等との協働を進めます。
 - NPOが安定した運営を続けていけるよう、情報の提供や指導・助言に努めます。
 - NPOと県、企業との協働を推進するとともに、市町との協働を促進します。
- ③ NPO・ボランティア活動を担う人材育成を進めます。
- ④ 団塊世代のNPO・ボランティア活動への参加を促進します。
 - 団塊世代へのNPO・ボランティア活動の理解を促進するとともに、自分にあったNPO・ボランティア活動を発見するための機会を提供します。
 - 団塊世代が自らの技術・ノウハウを地域社会で活かせるよう、NPOの立ち上げを支援します。
- ⑤ 学校教育において、ボランティア活動などの社会奉仕体験活動を推進します。
 - 特別活動等の時間の中で、実体験を通してボランティア活動への理解を深め、活動への意欲を醸成できるよう努めます。



県民へのメッセージ

- ◎地域コミュニティを活性化するには、より多くの県民の地域活動への積極的な参加が求められています。
- ◎また、NPO・ボランティア活動への参加が、生きがいづくりや自己実現の機会創出にも繋がることを期待されます。